



適応ビジネスの考え方

実施内容

気候変動をビジネスチャンスととらえたポジティブな事業展開に関する事例(農家向け天候インデックス保険、作業員の熱ストレスレベルを推定し把握するシステムなど)について学び、産業・経済活動への適応について考えます。

POINT

・気候変動への適応をビジネスチャンスとして捉える考え方を学びます。

留意点

- ・適応ビジネスに関する多くの事例の提供が有効。
- ・気候変動「適応」をはじめとする環境全般について、最新の情報である必要があるため日頃の情報収集や活動が大切。



平均所要時間	定員
3時間	20名程度
準備物	実施団体
セミナー備品一式	自治体



▲ビジネスと地域での適応策を結び付けるワークショップ
*ハンドブックP18,19もご覧ください

SDGsはビジネストレンド

実施内容

気候変動問題とSDGsを関連付けるとともに、適応になじみのない事業者の興味を引くよう、具体的なビジネス事例を紹介するセミナーを通して、産業・経済活動への適応について考えます。

POINT

- ・適応になじみのない事業者にも理解しやすいよう、具体的な事例を紹介します。
- 例)放送メディア・・・「適応」に資する企業活動の紹介や、自然災害時の情報収集・発信
- アプリ開発企業・・・キッチンカーなど移動する情報を見つめられるアプリを、自然災害時に家族と出会うために活用できるなど

留意点

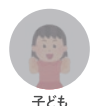
- ・展示や資料配布により、適応についての補足説明が必要。
- ・SDGsに関する理解度に応じて、適宜説明を加えることが望ましい。



平均所要時間	定員
3時間	60名程度
準備物	実施団体
セミナー備品一式	自治体



▲17の目標を展示
*ハンドブックP18,19もご覧ください



ものづくりにおける適応

実施内容

作り手と使い手の双方が適応について考える機会として、ものづくりに焦点を当て、企業における事例を紹介するセミナーなどを通して、産業・経済活動への適応について考えます。

POINT

- ・海外→地域→自分自身と視点を移しながら、適応について学びます。
- ・適応は地域によって異なることを知ってもらいます。
- ・日常生活でできる「適応」を、風・水・みどり・電気・安全などをキーワードに考え意見交換します。

留意点

- ・参加者全員で「適応」の方策を考え、「適応スタイルの心得10か条」などとする事により、参加者の意思を反映され、今後の適応行動につながる。
- ・他班も含めて意見交換や発表を行うことで、より理解が深まり、新たな気付きにもつながる。



平均所要時間	定員
2時間	20名程度
準備物	実施団体
セミナー備品一式	自治体



▲「適応スタイルの心得10か条」を考えるワークショップ
*ハンドブックP18,19もご覧ください

持続的なビジネス展開

実施内容

気候変動による事業活動への影響に対する「適応」を経営課題として意識し、リスク対応や持続的なビジネス展開に関するセミナーを通して、産業・経済活動への適応について考えます。

POINT

- ・大企業だけでなく、中小企業の事例も紹介することで、身近に適応ビジネスを知ってもらいます。

留意点

- ・事例紹介では、事業の適応部分にポイントを置いた紹介になるよう事前打ち合わせが必要。
- ・大企業の先進的な取り組みを知りたい参加者と身近なビジネスについて知りたい参加者の双方の期待に応える人選に工夫が必要。



平均所要時間	定員
3時間	100名程度
準備物	実施団体
セミナー備品一式	自治体



▲企業向け冊子紹介



▲パネルディスカッション

*ハンドブックP18,23もご覧ください

